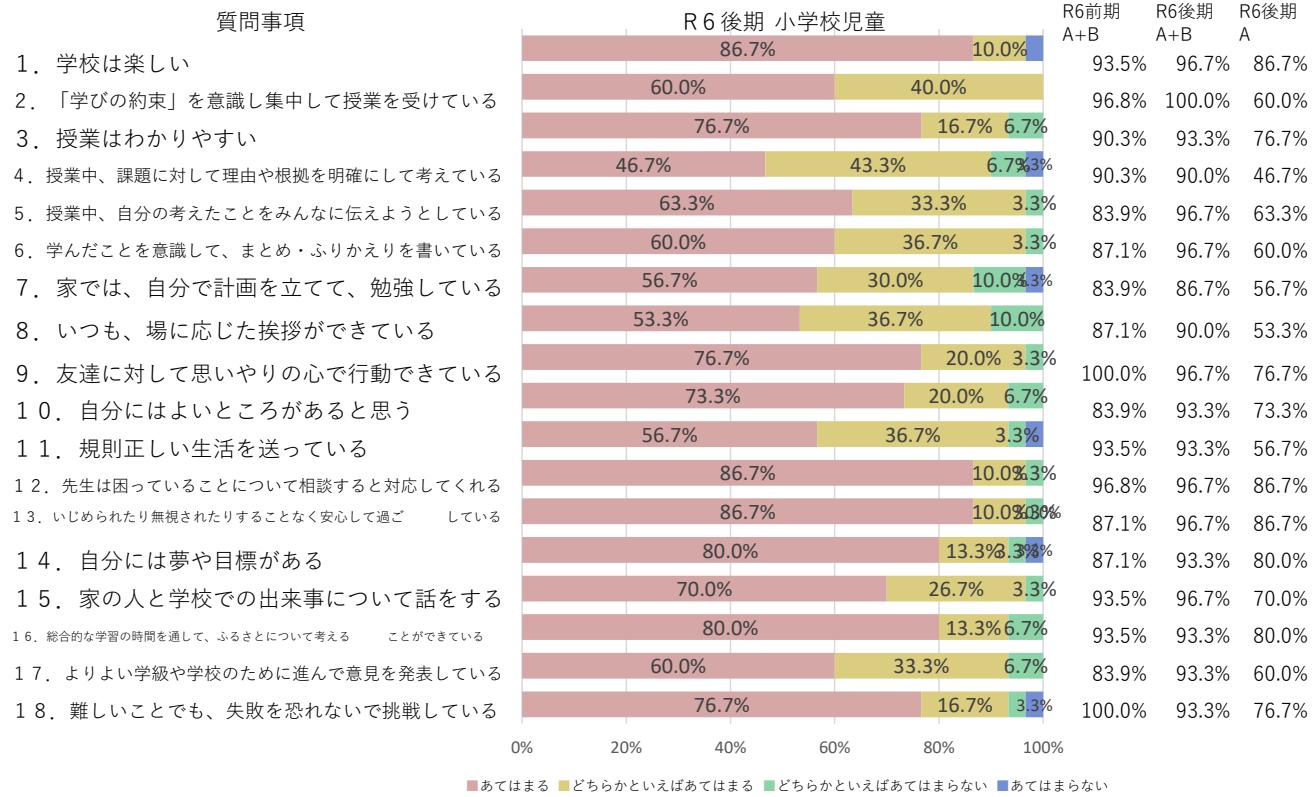


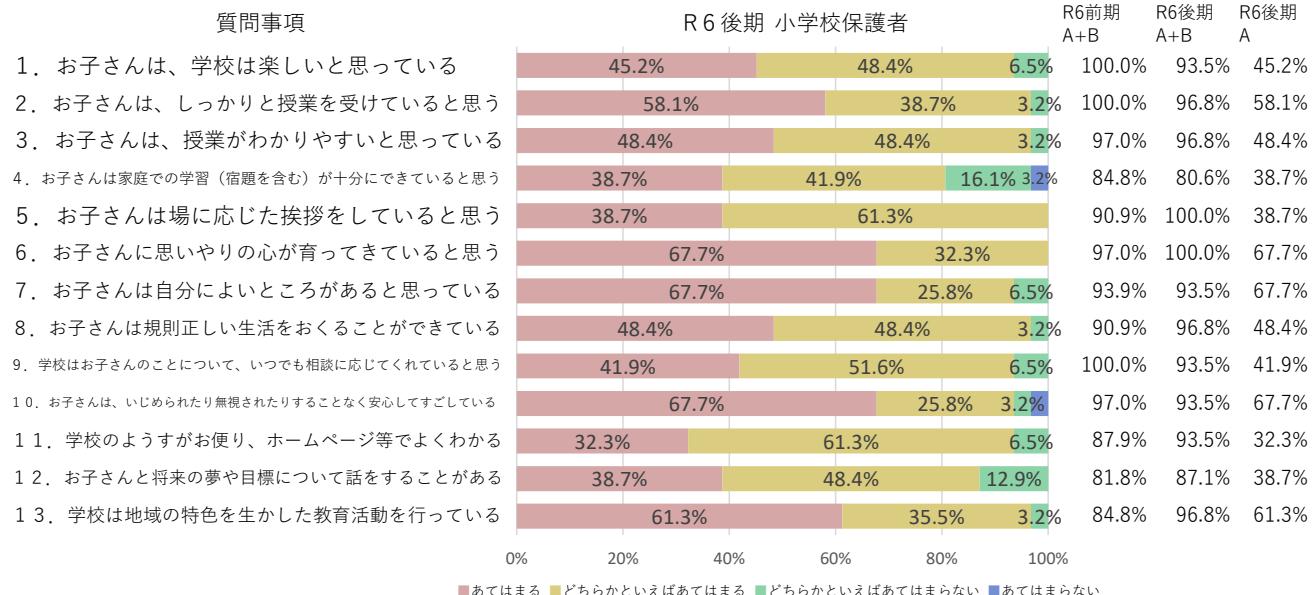
令和6年度後期 学校評価結果の公表

立春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。後期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教員一同、一層の改善に努めていきたいと考えております。

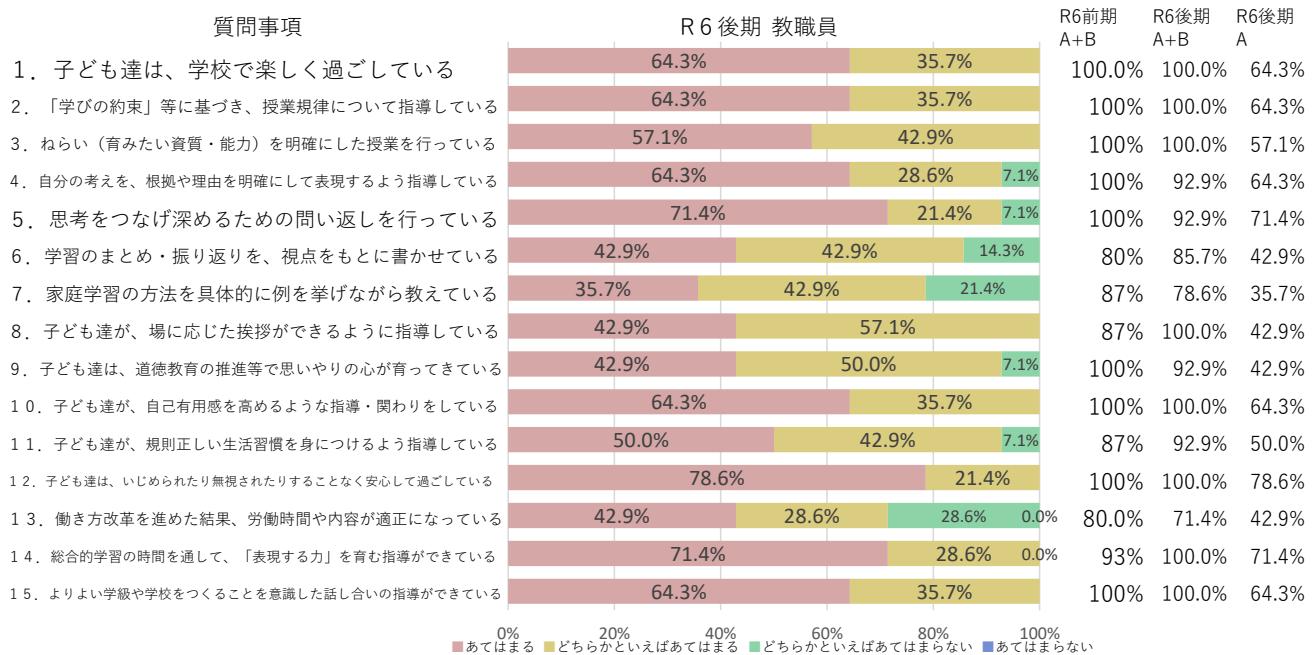
小学校児童



小学校保護者



教職員（小学校+中学校）



【よかった点○と課題と改善策☆】

〈学習面について〉

○「学びの約束を意識」していると肯定的に答える児童は100%になりました。「しっかり授業を受けている」と感じる保護者も増えています。前期同様、考えたことを皆に伝えたいと思いながら授業に臨んでいる児童が多く、「まとめ・ふりかえり」の際の意識も高まりました。計画的に学習することや家庭学習の項目ではA+B評価が8割超と、良好でした。

☆A評価のみに注目すると「授業はわかりやすい」「根拠や理由を明確に」の項目では児童の割合がやや下がっています。家庭学習の項目も児童、保護者ともに低い傾向にあります。課題に対して根拠を明確に考え、話し、書く力は今後も必要な力です。授業でも理由や根拠を明確にする問い合わせを行い、児童の考えをつなげ、深めることで、みんなで学ぶ良さを児童が感じられるようにしていきます。

☆家庭学習がんばり週間では、自分のめあてを決めたことや保護者の励ましにより、自分の力をつけるための学習を意識できた児童が多くいました。今後も一人ひとりに合わせた声かけや学習の具体例を示すなどして、ステップアップしていくよう働きかけ、それぞれの意識を高めていきます。

〈生徒指導面について〉

○「場に応じた挨拶」について保護者の肯定的評価が多く、「思いやりの心で行動できている」「育っている」という項目でも児童、保護者、教職員ともにA+B評価は9割超えです。「規則正しい生活」についても概ねできていると肯定的評価の児童、保護者が多く、「自分にはよいところがある」の項目も児童のA評価が前期より15.2ポイント上昇しました。

☆規則正しい生活については、アンケートや生活リズムアップウィークの取組として、「早寝・早起き・朝ごはん」だけでなく、帰宅後の過ごし方を項目立てて振り返り、児童が自ら課題点を改善できるように促します。家庭でのメディア使用時間や挨拶については、具体策を児童にも考えさせ、家庭と連携してよりよい生活習慣となるよう努めます。

☆生活アンケート等も生かしながらアンテナ高く児童の様子を観察し、安心して学校生活を送れるよう適切に面談等を行い話を聴きます。また、学級やたてわり班等、様々な活動場面を捉え、一人ひとりの良さや頑張りを互いに認め合うことができるよう、粘り強く働きかけます。努力したことやできていること等を認めながら、家庭と連絡を取り合い、つながりが密になるように努めます。

〈特別活動面について〉

○「よりよい学級や学校をつくるために進んで意見を出し合う」について、A評価が大幅に上昇しました。行事や取組を子ども主体で行ったことが効果的だったと考えます。今後も、活動毎にめあてや活動の見通しを持たせ、責任を持ってやり切らせることで、達成感や成就感、次への意欲、自信につなげができるように工夫していきます。

【学校関係者評価委員会より】

○学校が教育目標を達成するために実施している様々な取組が少しづつ効果を上げてきている。職員が目的を共通理解し、保護者の理解、協力を得て、共通実践している証と言えるだろう。子どもたちのより良い成長に向けて改善しようとしていることを、ぜひ継続して欲しい。

☆地域と連携することで一層効果の上がる取組があれば、学校運営協議会を活用する等、綿密に連携していくと良い。

大半の児童の小・中9年間の成長を見届けられるのが白嶺の強みである。特徴的な数値の変化があれば改善に生かすと良い。